

令和5年度 富屋特別支援学校鹿沼分校

教 育 目 標	一人一人の障害の状況等に応じたきめ細やかな教育を行い 自信と意欲を育てることにより持てる力を伸ばし、社会において自律的に生きていく基礎を培う
めざす学校像	1 児童生徒の健康と人権を守り、児童生徒が安心して安全に学べる学校 2 児童生徒が意欲的に学び、自信をもって楽しく活動できる学校 3 家庭や地域との連携を大切にし、信頼される学校 4 教職員が協働し、明るく活気にあふれる学校

今年度の重点目標		推進担当部	達 成 目 標	具体的な取り組み
安全・安心な学校づくり	・児童生徒が、自ら身を守る力を育むための安全教育の充実を図る	児童生徒指導 健康安全	・児童生徒が、自分の身を守る力を高めることができるよう安全教育に取り組む。	・実態に応じて交通安全教室を実施し、地域学習等の際に実践する。 ・避難訓練では、事前に緊急地震速報の説明、ヘルメットの着脱、ダンゴムシのポーズの練習、備蓄品の確認等を行う。また事後には告知なしのショート訓練を実施する。
	・自らの健康管理や体力向上など予防行動の定着を図る		・児童生徒が、健康管理等の予防行動を行うことができる。	・活動の後には手洗いやうがいの励行、季節や天候による衣服の調節や汗の始末、また食後には歯磨きの指導等を行う。
	・教職員一人一人が危機管理意識を高くもち、安全な環境作り、組織的な対応をする		・各種訓練や研修を行い、緊急時の組織的な対応について理解、啓発を図るとともに危機管理意識を高める。	・避難訓練(火災、竜巻、地震)、ショート訓練(告知なし)、救急法講習会、AED研修、嘔吐物処理研修、危機管理研修、医療的ケア研修、アレルギー研修等を企画、実施する。
主体的に学ぶ授業づくり	・ICT活用を含む、興味関心を生かした教材教具の工夫を行い、授業の改善に生かす	研修部	・ICT活用に関する研修を定期的実施し、各教職員が、授業や業務遂行に有効に活用することができるように取り組む。	・ICT活用研修(Formsを使ったアンケートの活用、zoomの設定や手順について等)の実施 ・利用可能な教材ソフト、アプリに関する研修、タブレットや電子黒板の活用の工夫など、日々の授業改善に生かせる技能研修を必要に応じて企画、実施する。
		学習指導	・ICT機器を含む教材教具及びその活用法の工夫と情報共有を行い、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりができる。	・教材及びその活用法を積極的に紹介し、情報共有のための格納場所のデータの充実と整理を行う。 ・一人一人の興味関心を生かした教材教具を持ち寄り、校内教材教具展を開催する。(興味関心をどのように生かして制作、活用しているかがわかるような個票の工夫) ・児童生徒総会や児童生徒会役員選挙に関する授業をICTを活用して分かりやすく工夫する。 ・主体的にICT活用ができるよう、情報モラル教育の充実に取り組む。(全体計画の作成や段階に応じた教材の活用等) ・ ・ICTの活用に関する情報共有の場をチームズ内に設ける。 ・ipadを用いて児童生徒自らが学校や自分の様子を撮影し、居住する地域の学校との交流活動における学校紹介等に活用する。
		教務	・ITCを含む教材教具についてのニーズを探り、授業の改善に生かせるよう環境を整備する。	・各分掌部や各学部と協力して情報収集をし、必要な情報を発信していく。 ・教材教具の工夫、授業の改善の環境整備の実施。
地域での学習活動の充実	・地域の人材、学校、団体、自然、施設、イベント等を生かした学習活動を工夫する	渉外	・地域の施設の活用を進めることができる。	・地域活用シートの充実を図り、情報を共有する。ブロックだよりや学部だよりで、地域での活動の様子を保護者に発信するよう依頼する。
	・行事や授業の様子など、家庭や地域への情報発信の充実を図る	相談支援	・行事や授業において、ボランティアを積極的に活用するとともに、実際の活動の様子について、保護者等に分かりやすく情報発信する。	・学校公開、ボランティアだより、ホームページ等により、ボランティアの具体的な活動内容、取組について発信する。
		進路	・児童生徒が行事や授業等に参加する様子を記録し、分かりやすく保護者に伝える。	・児童生徒が行事や授業等に参加する様子を懇談や保護者会、便り、ホームページ等で発信する。
	・地域の人に挨拶する態度の育成について、家庭と連携して定着を図る	小学部	・一人一人の児童の実態に応じた方法で、日常生活に必要な挨拶ができる。	・朝の会、帰りの会、授業の始まりと終わりなどの場面をとらえ、教師が手本を示し、繰り返し指導・支援する。 ・挨拶の仕方を視覚的に分かりやすく提示したり、教室の掲示物を工夫したりし、意識向上を図る。 ・保護者会やブロックだより等を通して、保護者に取組を情報発信する。
		中学部	・一人一人の生徒の実態に応じた方法で、場に応じた挨拶ができる。	・適切な挨拶の仕方を身に付けられるように、場に応じて教師が手本を示し、具体的に指導・支援する。 ・視覚的に分かりやすい掲示物を工夫し、挨拶の意識向上を図る。 ・保護者会や学部だより等を通して、保護者に取組を情報発信する。